

戦後日本の 古陶磁鑑賞と メディア文化

日時 2026年 12月21日（月）
13:00～17:30 ※12:30開場

会場 東京文化財研究所 地階セミナー室
（東京都台東区上野公園13-43）

主催 | 東京文化財研究所 文化財情報資料部

後援 | 東洋陶磁学会、公益社団法人 日本陶磁協会

プログラム

参加無料・事前申込制

13:00 開会の辞 齊藤 孝正（東京文化財研究所 所長）

13:05 趣旨説明

13:10 基調講演 森 孝一（美術評論家）

昭和100年の古陶磁鑑賞の変遷とメディア文化

14:10 研究発表 木田 拓也（武蔵野美術大学 教授）

戦後日本の出版文化と中国陶磁—南宋官窯を中心に

15:05 研究発表 田代 裕一郎（東京文化財研究所 研究員）

戦後日本の古陶磁鑑賞における「李朝」像の変容

15:45 研究発表 花井 久穂（東京国立近代美術館 主任研究員）

民藝の戦後—生活と鑑賞の位相

16:40 ディスカッション・質疑応答

▼お申し込みはこちら▼

お申し込み締切

12月18日（金）10:00

※なお、定員（100名）に達し次第、
締め切らせていただきます。

お問い合わせ

担当：田代 裕一郎

tashiro-y7k@nich.go.jp

